

コロラド州立大学を訪問 !!

令和5年7月12日（水）、藏内勇夫アジア獣医師会連合（FAVA）会長（日本獣医師会会長）は、コロラド州立大学獣医学部を訪問されました。

今回の訪問には、ホ・ジュヒョン大韓獣医師会会長（アジア獣医師会副会長）も同行されました。



藏内会長

ホ会長



スー獣医学部長

トレーシーワンヘルス研究所所長



秋田県議会議員

藏内会長 ホ会長

コロラド州立大学は、獣医学、公衆衛生、持続可能性の分野で全米に認められており、学際的な境界を越えた革新的なワンヘルスソリューションのための特別な場所となっています。特に、ワンヘルス研究所は、学際的なチームを集め、ワンヘルスの問題に対する行動志向の解決策を開発することに取り組まれています。

ワンヘルス研究所は、コロラド大学ボルダー校とコロラド大学アンシュッツ医学キャンパスの共同プロジェクトとして設立されました。この研究所は、健康とウェルネスに関連する研究、教育、臨床プログラムを提供することを目的としています。

その後、藏内会長一行は、コロラド州立大学の教育施設である SPUR（サパ）を視察されました。



この施設では、子供が獣医の仕事を経験しながら、バーチャルリアリティでプログラムを学ぶことができます。また、子供たちは馬との触れ合いやお世話を通じて、互いの関係について学ぶことができます。具体的には、馬の行動学、馬の健康管理、馬の環境への影響や馬とのコミュニケーションについて学び、相手の身体的な反応や表情を読み取るスキルを身につけます。

このような馬との学習体験を通じて、子供たちはワンヘルスの概念を実践的に学ぶことができます。また、馬との触れ合いは、子供たちの自信や共感力の向上にもつながると言われています。

さらに、人間が馬をケアするための施設もあり、馬の動きやリハビリ、ヒーリング施設を通じて馬の動きを観察することができます。

ワンヘルス教育は、子供たちが自然環境や動物への興味を持ち、環境保護や動物の健康に配慮する意識を育む上で重要です。

コロラド州立大学の馬を活用した教育プログラムは、この目標を達成するための貴重な取り組みの一つなのです。

2023年7月13日

福岡ワンヘルス協議会・事務局